

# 中条町商工会景況調査報告書

組織番号	018
商工会名	中条町商工会
報告者名	鈴木邦彦

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 中条町商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 44 事業所)  
ウ 回答企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 44 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 平成28年7月～平成28年12月  
(調査時点 平成28年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	4.4%	2	4.4%
建設業	10	22.2%	10	22.2%
卸・小売業	13	28.9%	13	28.9%
サービス業	20	44.4%	20	44.4%
合計	45	100.0%	45	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

全国及び新潟県内の経済状況は各種調査報告からは緩やかな回復基調が続いているとあるが、当地域内の景況状況は、人口減に加え需要の停滞から厳しい状況が続いている。  
前年同期に比べ増加した割合は少なく、将来の展望も厳しい状況がまだまだ続くと思料する割合が大きい。

### 【後継者の状況】

特に小規模事業者の後継者については厳しい状況で、事業主の高齢化が進む中、当地区でも重点事項となっており、厳しい経済状況が続く昨今では廃業となる件数が増加傾向にある。

後継者 あり	14事業所	31.1%
後継者 なし	31事業所	68.9%

### 【売上高】

前年同期からの減少した割合が半数を超え、前期から不変及び減少が90割超と厳しい状況が続いている。  
今後の見通しも厳しい状況が続くと予想する割合が高く、人口減少に加え需要の停滞が大きな要因と思われる。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
5	16	24

#### 前期比

増加	不変	減少
4	27	14

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
7	14	24

### 【採算】

売上の減少比率に比べ何とか採算を保っているが、好転が期待できない今後の見通しでは、悪化に転じると予想する割合が大きい。  
今後、景気回復が遅れるようなら採算割れが続き財務に大きな影響を与えそうだ。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
4	22	19

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	32	11

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
4	19	22

### 【仕入単価】

前年より価格が上層傾向にあり、この先も低下に転じることはない状況です。  
単価の上昇を販売価格に転嫁できない小規模事業者は、厳しい状況が今後も続くと思料される。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
19	23	3

#### 前期比

上昇	不変	低下
9	34	2

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
13	30	2

### 【販売（客）単価】

販売価格に転嫁できない状況が未だに続き、売上減少と合せ採算割れの割合が高まる恐れがあり、今後の見通しも回復すると予想する割合は極めて低い。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
2	25	18

#### 前期比

上昇	不変	低下
1	36	8

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
3	31	11

### 【資金繰り】

返済原資の確保が難しく、新たな借入を検討することも控えて、これまでの蓄えで何とかしている状態だと思われる。  
採算割れが続くようであれば資金繰りの体力もいつまでもつか非常に心配な状態です。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	33	8	0	40	5	1	40	4

### 【雇用動向】

全国的には人材不足の傾向にあるが、需要の低迷により当地域内では雇用延長もあり、比較的雇用動向は安定している。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	39	5	1	40	4	1	41	3

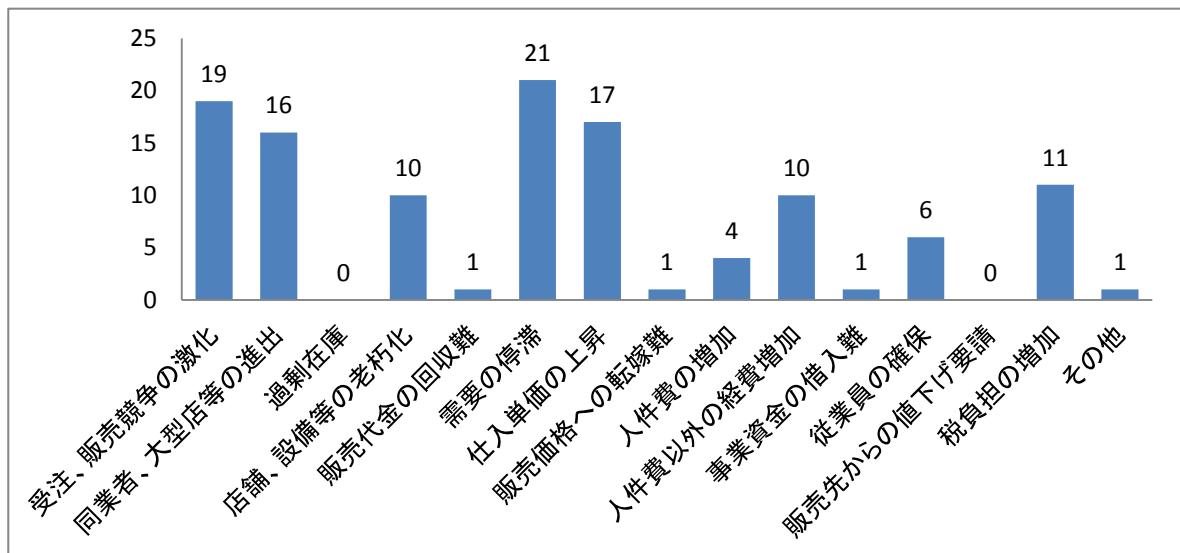
### 【景況判断】

前年同期比では、悪化を示す数値が高く、現状も不変である。  
今後の見通しも不変ないし悪化を予想する数値が高く、好転は期待薄である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	18	25	2	29	14	2	26	17

### 【経営上の問題点】

需要の低迷と競争の激化により売上減少が続き、そこに仕入単価の上昇が加わり経営状況は悪化を示している。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

競争の激化と需要の停滞による販売価格への適正な転嫁が難しい状況が続き、製造原価の上昇により利益が期待できず厳しい経営を強いられていると思われる。

#### (2) 建設業

官公需要及び民間需要の停滞から売上は下降気味であり、初冬から暖冬で降雪量が少なく冬季間の売上減少が予想される。

また、原材料の高騰も採算に影響し、資金繰りでも徐々に体力を奪われる状態になると予想される。

#### (3) 卸・小売業

大型店への流出に加え、少子高齢化による需要の低迷で売上の減少が大きく、今後の見通しも他の業種比でも非常に厳しい状況が続くと予想される。

#### (4) サービス業

原材料等仕入単価の上昇が販売価格に転嫁できず採算の数字を大きく低下させている。

また、設備投資を行えず店舗の老朽化改善が出来ない事で、集客力を低下させ、売上を減少させている状況がみられる。

(様式③)

No.

## 景況調査ヒアリングシート（平成28年度）

調査対象期間 平成28年7月～12月

（調査時点 平成28年12月1日）

商工会名		商工会	担当職員名
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。（該当する番号に○を付してください。）

	前年同期 (H27年7～12月)と比較して	前期 (H28年1月～6月)と比較して	今期 (H28年7～12月)と比較した来期 (H29年1～6月)の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

(2) 貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付してください。）

- ①受注、販売競争の激化                      ②同業者、大型店等の進出                      ③過剰在庫  
④店舗、設備等の老朽化                      ⑤販売代金の回収難                              ⑥需要の停滞  
⑦仕入単価の上昇                              ⑧販売価格への転嫁難                              ⑨人件費の増加  
⑩人件費以外の経費増加                      ⑪事業資金の借入難                              ⑫従業員の確保  
⑬販売先からの値下げ要請                      ⑭税負担の増加  
⑮その他（    ）

(3) 今後の事業・経営において強化したい点（設備投資・販路開拓等）

--